

洞爺湖芸術館 入館者3,000人を達成

洞 爺湖芸術館が、4月のオープンから11月22日に入館者3,000人を達成し、セレモニーが行われました。

節目の来館者は、阪急交通が主催する阪急ミステリーツアーで同館を訪れた函館市から来た濱市竜也さん（8歳）。

同芸術館から地産産のシソジュースとトマトジュース各1本のセットが贈呈されました。

母と祖母と3人で参加した濱市さんは「ちょうど3,000人目に当たるとは思わなかったのでびっくりしました。うれしい」と喜んでいました。

昨年に続いての達成に、芸術館の関係者も安どの表情を浮かべていました。



3,000人目の入館者になった濱市竜也さん（中央）

洞 爺高校ととうや小学校との交流授業が、11月27、28日の両日、洞爺高校



仲良くエプロンを完成させる高校生と小学生

で行われ、被服コースの3年生11人が先生役となり、とうや小6年生13人を指導。ミシンを使ってエプロンを作り上げました。

児童らは、ミシンのかけ方などに苦労しながらも、高校生の励ましや的確な指示を受け、2日間で全員が好みのエプロンを完成させました。

これに先立ち25、26日の2日間、高校2年生と同小5年生がナップザック作りの交流授業を行いました。

エプロン作りで交流 洞爺高校ととうや小学校

ク リスマスを控えた11月29日、2日間にわたって「2014水の駅クリスマスフェア」



買い物を楽しむ来場者

（洞爺まちづくり観光協会主催）がとうや水の駅で開かれ、親子連れやクリスマスプレゼントを求める人などで賑わいました。

会場では、多くのクリスマス雑貨、キャンドル、ポストカードなどが町内や近郊からの出店者によって並べられました。ライブコンサートや軽食コーナーなども設置され、訪れた人たちは、一つひとつかわいらしい雑貨を手に取りながら買い物を楽しみ、終日賑わっていました。

一足早くクリスマス 水の駅クリスマスフェア開催

とうやの恵みを食す クッキングフェア

地 場産の良さを理解してもらおうと12月5日「J Aとうや湖 家の光クッキング・フェスタ」が洞爺総合センターで約120人が参加して、試食会と料理研究家の宮本和秀さんの講演会が開催されました。

試食会では、宮本さんの指導で農協、漁協婦人部の皆さんが作った生姜ご飯、豚肉とリンゴの柔らかか煮、浜鍋など6品が並べられ、地元食材の料理に舌鼓を打ちました。

引き続きテレビの3分間クッキングでおなじみの宮本和秀さんが「家庭料理から始まる地産地消」と題して講演。家庭料理の意

味を、自らの体験を披露しながら、巧妙な語り口で話し、会場を沸かせました。



笑顔で料理をトレイに分けてもらう参加者

まちのわだい

